

働くことの意義を考えよう

—「人生は青天井、一生青天井」「一生勉強、一生青春」—



2026年5月25日(月)

13時40分～14時30分

開倫塾塾長
開倫塾日本語学校理事長・校長
林 明夫
(公益社団法人栃木県経済同友会)

お読みになりやすいようにQ and Aで書かせて頂きます。

Q 1 : 好きなことばはありますか。あったらご紹介ください。

A : あります。たくさんあります。

(1) 「ブルドッグ魂」…食いついたら離すな

* 足利市立山辺中学校クラス担任、岡田忠治先生

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

* 足利市立山辺中学校柔道部監督、椎名弘先生

(3) 「自他共栄(じたきょうえい)」…自分も他人も共に栄えよう

* 講道館の教え

(4) 「一所懸命(いっしょけんめい)」…一つの所で命を懸けるくらい熱心に取り組もう

* 足利高校マラソン大会の合言葉

(5) 「スポーツの3つの宝」

① 「練習は不可能を可能にする」…練習をすることでできなかったこともできるようになる

② 「フェアプレー」…ルールを大切にプレーをする、いやしいプレーはしない。

相手を尊敬する

③ 「よき友」…スポーツをする人は皆友達

* 慶応義塾大学塾長 小泉信三先生

(6) 「人生は青天井(あおてんじょう)、一生青天井」…人の潜在可能性は無量大

(7) 「一生勉強、一生青春」…一生勉強し続け、自分のよさを自分の力で引き伸ばそう

* 足利出身の書家 相田みつを先生



＜ここでちょっと一休み「コーヒーブレイク」(I)です＞

皆様の好きなことばは何ですか。あったら1つ書いてください。

Q 2 : 「働く」とは何ですか。できるだけわかりやすく話してください。

A : 「働く」とは「仕事をする事」と考えます。

(1) 仕事とは、「製品(もの)」や「サービス」を「お客様」に提供し、

「お客様のお役に立つこと」と考えます。

(2) すべての「製品(もの)」や「サービス」には、「お客様」がいます。

(3) 「お客様のお役に立つ」とは、「お客様の困っていること」や「問題」

を解決することです。

(4) 同じような「お客様」が、世の中にはたくさんいらっしゃいます。

・ですから、仕事とは、「お客様」や「世の中」の「お役に立つこと」と考えます。

○ 「仕事」とは、「製品(もの)」や「サービス」を「お客様」に提供し、お客様の困っていることや問題を解決することで、「お客様や世の中のお役に立つこと」と考えます。



＜ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(Ⅱ)です＞

皆様が関心のある仕事を一つ思い浮かべてください。

(1)それは、どんな「仕事」ですか。

(2)その仕事は、どのような「製品(もの)」や「サービス」を提供していますか。

(3)その「製品(もの)」や「サービス」のお客様は誰ですか。

(4)お客様の「困っていること」や「問題」は何ですか。

(なぜお客様はその「製品(もの)」や「サービス」が必要なのですか)

＜参考＞「マーケティングの4P(Pで始まる4つのことば)と「顧客(こきやく)に対する意味」

(1)Product(プロダクト)…「製品」「サービス」：お客様の問題解決になっているか

(2)Price(プライス)…価格(値段)：お客様の負担でないか、買いやすいか

(3)Place(プレイス)…場所、流通：お客様にとり便利な場所か

(4)Promotion(プロモーション)…広告・宣伝・販売促進：お客様とのコミュニケーション
になっているか

○「マーケティング」とは、「もの」や「サービス」がよく売れるための条件と考えます
これを「マーケティングの4P」とよびます

Q3：働くことの楽しさ、厳しさとは何ですか。人は何のために働くのですか。

A：(1)人は何のために働く、仕事をするのか

- ①「お客様や世の中のお役に立つため」
- ②「生活できるだけの収入を得るため」
- ③「仕事を通して自分の夢や希望を実現するため」…「自己実現」

(2)仕事の楽しさとは何ですか

- ①仕事を通していろいろなことを経験できる、いろいろな人と知り合い、お友だちができる
- ②いろいろなことを学べる。仕事を通して成長できる
- ③仕事を通して、自分の夢や希望を実現できる(自己実現)



(3)仕事の厳しさとは何ですか

- ①世の中の変化は激しく、お客様の必要とすることもどんどん変化し続けること→
その変化に応じた「製品」や「サービス」を提供し続けること
- ・「世の中がどのように変化しているか」を知ること、「情報収集」が欠かせません

- 新聞を毎日読み、「批判的思考能力を身につける(クリティカル・シンキング)」—
- ②新しい「競争相手」や、代わりになるような「製品」「サービス」がどんどん登場する
 - ③お客様を確保し続けること(「今までのお客様を大切に」+「新しいお客様を開拓する」)
- ・コロナ禍のときには、お客様が激減して厳しい状況になった仕事がたくさんありました

<参考>

<仕事はチームプレーです>

- ①チームプレーとは、チームのメンバーを尊敬し、信頼し、自分のポジションは自分で守り切る
- ②みんなで不足することを補い合うこと
- ③すべてのチームには「リーダー」がいます

<ここでちょっと一休み「コーヒブレイク」(Ⅲ)です>

「リーダー」とはどのような人だとお考えですか。リーダーの条件は何ですか。3つ書いてください。

(1)

(2)

(3)

Q 4 : 社会人になるための心構えや礼儀、社会に出たときのマナーは何ですか。

A : (1)「職場には5分前くらいまでに到着すること」

○早め、早めに準備して、忘れ物をしない、服装を整え、元気に出勤できるようにいたしましょう

(2)①「仕事はメモで身につける」、大切なことは「メモし続け」、そのメモを整理し、仕事に活かすこと

②「大切なことをメモし続ける」のに役に立つのが、「学校の授業中に大切なことをノートに取る」習慣を、学校時代に身につけることです。「ノート整理」「ノート整理した内容」をすべて覚える

③「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)ようにすること」



(3) 「5 S (ゴエス)」…「Sではじまる5つのことば」

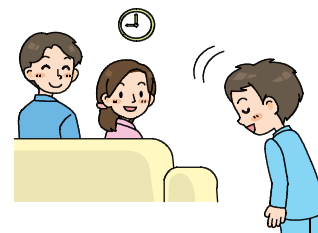
- ①「整理」(seiri) …いらぬものを処分する
- ②「清掃」(seisou) …きれいに掃除そうじをする
- ③「整頓」(seiton) …ものは同じ場所に置く
- ④「清潔」(seiketsu) …①～③を継続
- ⑤「躰」(shitsuke) …自分で決めたこと、みんなで決めたことは、自分から進んで行く



○足利は「論語と5 Sの街」といわれるくらい「足利学校の論語」と「5 S」が盛んで、日本中、世界中から「論語と5 S」を学びに多くの方々が訪問しています。足利商工会議所には「足利5 S学校」もあります。日本で一番「論語と5 S」の盛んな街にいたしましょう！

(4) 別の意味の「躰しつけ」も大事

- ①「美しい立居振舞たちいふるまい」
 - ・「服装第一」
 - ・After you ! (お先にどうぞ)
 - ・皆の分の料理がそろってから、食事はスタート
- ②「美しい言葉遣ことばづかい」
 - ・職場では「です、ます」を用いる
 - ・敬語表けいごひょうげん 現を含む言葉遣い
 - ・「メール」ではていねいな表現を
- ③「元気なあいさつ」
 - ・「あいさつは、相手の目を見て、自分からする」



Q 5 : 中学校生活で学んでほしいことは何ですか。

A : (1) 中学校、高校で学ぶことは、全教科、「仕事」や「社会的活動」、「日常生活」、「よく生きる」上で役に立ちます。一生役に立ちます。教科外活動もすべて役に立ちます。学校で学ぶことは、すべて役に立ちます。ですから、一つ一つしっかり勉強し、取り組み、学校での生活、活動に励んでください。

・ただし、無理は禁物です。じっくり、取り組んでください。

(2) ① 中学校・高校のすべての教科の勉強はすべて上級学年や上級学校、社会に出てから役に立ちますが、学校時代にすべて理解し、身につけることは難しいのが現実です



② ではどうしたらよいか。中学校・高校の「学校の教科書」「授業ノート」「まとめノート」「参考書」「辞書」「地図帳」「年表」などは棄てないで、全部とっておくことをおすすめします

③ そして、折に触れて読み直すこと「学び直す」こと。「学んだことを自分のことばでいえる(表現・説明できる)」ことを目指してください

(3) 「効果の上がる勉強の仕方」も、中学校時代から少しずつ工夫をして、自分なりの方法を身につけてください—社会に出てからも新しく学ばなければならないことが山ほどあるからです

①「予習」の仕方

- ・「意味」や「読み方」のわからない「語句」があったら、「気持ちが悪い」と考え、すべて「辞書」で調べる
- ・社会に出てからは、「テキスト」や「教材」を決め、必要なことを一人で学ばなければなりません。初めてのことを一人で学ぶのは「予習」と同じです。ですから、中学校・高校時代に「予習」の仕方を学び、身につけておくと、社会に出てから一人で勉強するとき役に立ちます

②「授業の受け方」

- ・授業の5分前には着席、前回の授業内容の「教科書」や「ノート」を読み直し、「復習」。その日の授業にサッと入れるように準備
- ・授業中、大切と思われることは「すべてノート」に取り続ける



③「復習」

- ・授業後、習ったことを思い出しながら「教科書」「授業ノート」を読み直す。計算や問題はすべてもう一回解く

④「定着」

- スラスラよく読めるようになるまで声を出して読む、「音読練習」「英語の発音練習」
 - ・「暗唱」(大切なことは見ないでいえるまでにする)
- 正確に書けるようになるまで「書き取り練習」
- 「計算・問題練習」
 - ・条件反射で答えが出るまで何回も解く



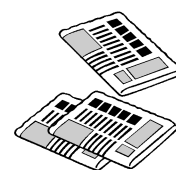
⑤「応用」：テストでよい点を取る、社会で役立つ

- ・「テキスト」「授業ノート」「まとめノート」はスミからスミまで覚える
- ・過去問は5～6回解く
- ・「教科書」などは学校卒業後も棄てないでとっておき、一生かけて学び直す



(4)「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しみ、読解力を身につける

(5)「AIを活用する能力」を身につける。「問いを立てる力」と「批判的思考能力」が大事



Q 6 : 最後に一言どうぞ

A : (1)「価値(大切さ)」「意味」「秩序」

- ①ものの大切さ、「価値」は何かを考える
 - ②自分にとって、みんなにとっての「意味」は何かを考え、「意味付け」を行う
 - ③では、何をどうしたらよいか、ルールを決め、「秩序」正しく行動。「自律的行動能力」を
- (2)「自分のよいところ」、「みんなのよいところ」を探し、どんどん伸ばす
- (3)励まし合う仲間づくりを！

ご清聴ありがとうございました

心から感謝いたします

ご質問、ご意見、ご感想がありましたら、遠慮なくお聞かせください

